MORNING DISPATCH

2026-10-28

1. Cognition、FrontierCode 2.0を公開
2. Copilot、安全な操作をAIが自動許可
3. Codex 0.165.0、memory v2が既定に

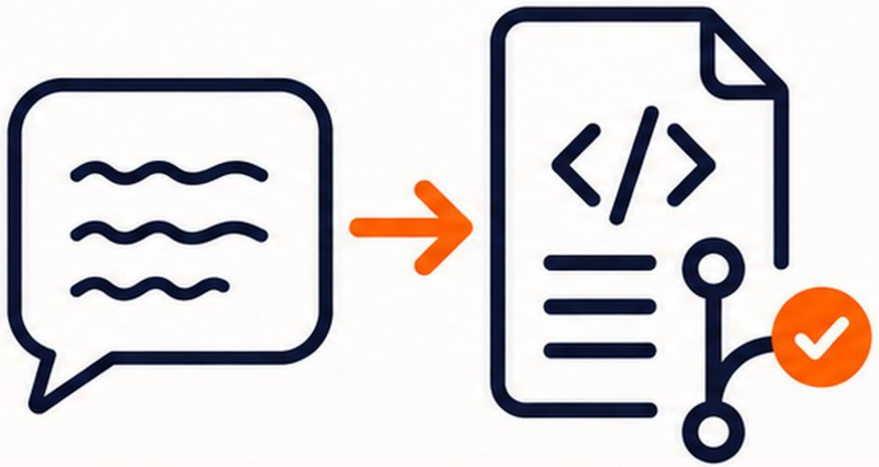
注目3件

TEKION Group

Cognition、FrontierCode 2.0を公開

Devinを開発するCognitionが、AIが「そのままマージできるコード」を書けるかを測るベンチマーク「FrontierCode 2.0」を公開しました。

- 20人以上のオープンソース開発者が、1課題あたり40時間以上かけて、自分がメンテナンスするリポジトリから課題…
- 2.0のスコア: Claude Opus 5.5 45.5%、GPT-6 Astra 42.8%、Grok 4.7 28.6%、Gemini 4 Argon 26.3%…
- 前版1.1と比べ、参照解答が変更するファイル数は平均67%増、変更行数は89%増、対象のコードベースは25%大きい…



細かく指示すれば解ける課題ではなく、あいまいな依頼から意図をくみ取り、余計なことをしない力を測っています。

cognition.ai

Copilot、安全な操作をAIが自動許可

GitHub Copilotで、エージェントが求める操作の許可をAIに判断させる「assisted permissions」が一般提供になりました。

- Copilot CLIは`/permissions`を実行してassistedを選ぶ
- GitHub Copilotアプリはモード選択の「Tool permissions」からAssistedを、VS…
- 企業の管理者は、「すべて許可（Allow All）」を禁止したままAssistedだけを許可する、Assisted…

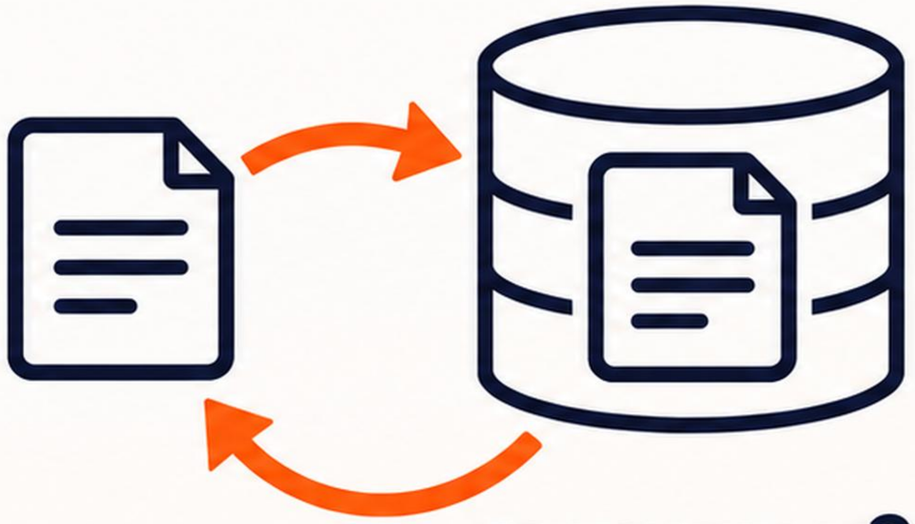


エージェントに作業を任せると「実行してよいですか」の確認が何十回も出て、中身を読まずに許可を押しがちです。

Codex 0.165.0、memory v2が既定に

OpenAIのコーディングエージェント「Codex」のCLIが0.165.0になりました。

- 新しく作ったプロフィールで memory v2 を既定で有効化。外部のエージェントのメモリを memory v2 に取り込む機能も追加
- Google Cloud の Vertex AI を使う設定を内蔵。`model_provider = "gcp"` で指定する
- 会話の途中で reasoning effort を変える機能を、対応モデルでは既定で有効化

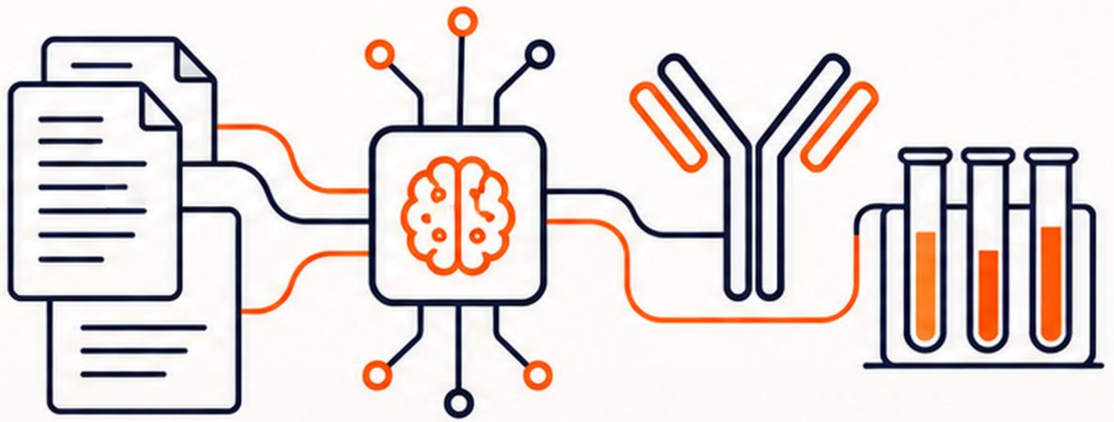


エージェントが前の作業を覚えておくメモリは、同じリポジトリで長く使うほど効いてきます。

Anthropic、Claudeでの創薬の途中経過

Anthropicの生命科学チームが、Claudeを使った創薬研究の途中経過を公開しました。

- **Generate Biomedicines:** がん治療（CAR-T細胞療法）の遺伝情報の一部を、6人の研究者がClaude…
- **Divergence Labs**（食物アレルギー）：約1か月で約3万5千の抗体設計を作って絞り込み、初期の試験で候補（ヒット）を見つけた
- **BigHat Biosciences:** Claudeを研究所のデータシステムにつなぎ、約10週間で1,010の候補を作って試験した

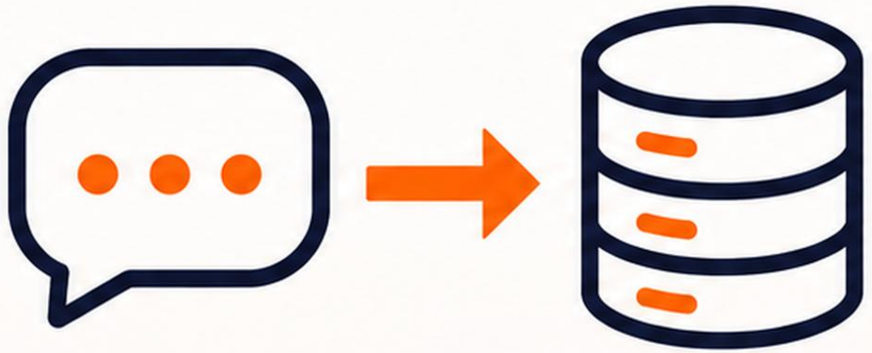


AIの創薬というと新しい分子のアイデア出しが注目されがちですが、実際の遅れは書類の確認や実験の調整など工程全体に散らばっています。

OpenAIとOracle、業務アプリをChatGPTへ

OpenAIとOracleが提携を広げ、Oracleの業務アプリとデータをChatGPTから使えるようにすると発表しました。

- **Oracle AI Workspace:** ChatGPTから、Fusion Applications・NetSuite・Oracle AI Database…
- **Oracle App Composer:** プログラムを書けない人でもCodexを使ってアプリを作り、OCIにデプロイできる…
- **Oracle AI Security Mesh:** OpenAIのサイバー向けモデルを使い、OCIや他社クラウド…

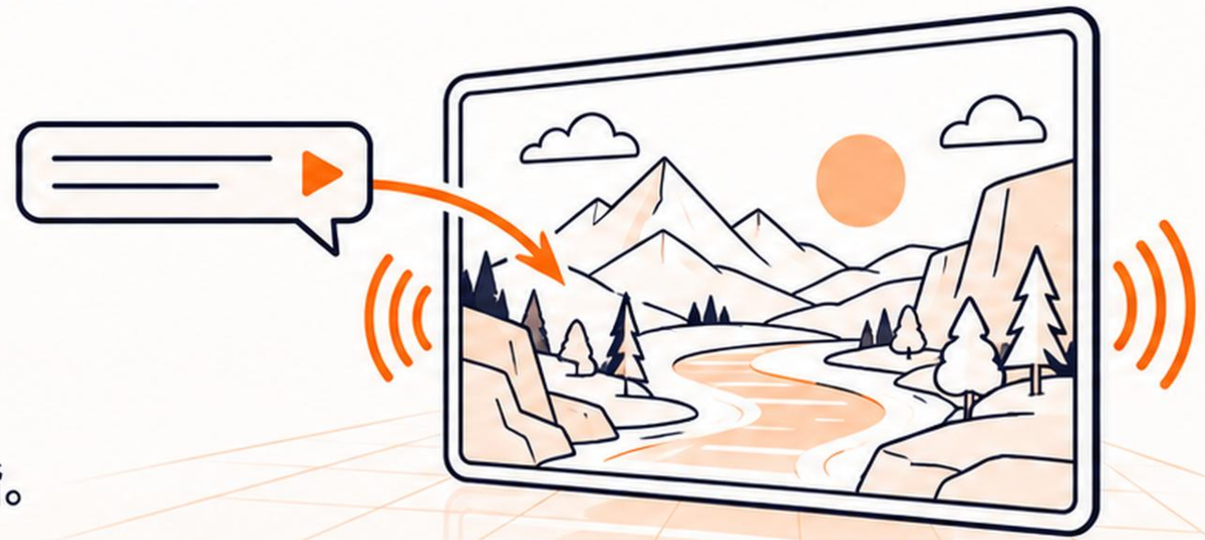


会社の基幹システムを、画面を探して操作するのではなく、ChatGPTに話しかけて使う方向に大手が動いています。

Google DeepMind、Genie 4を発表

Google DeepMindが、操作に合わせて動き続ける仮想の世界をその場で生成する「ワールドモデル」の新版、Genie 4の研究を発表しました。

- Geminiファミリーの能力を取り込んでいる。Gemini Omniが見た目や動きの現実らしさを支え…
- 自然な言葉で場面を操作でき、音（環境音・音楽・会話）もその場で生成される
- 提供は、限られた信頼できるテスターから始めた段階。Google AI Ultraの加入者向けのProject Genieと、Gemini…

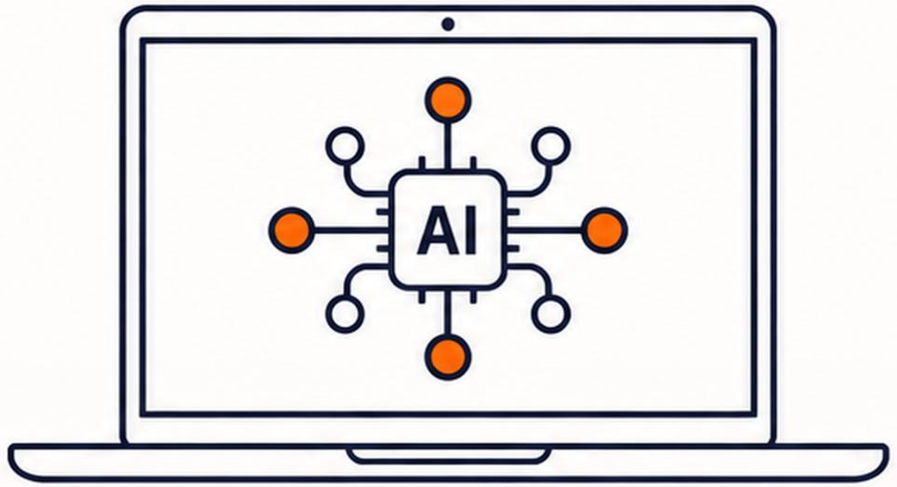


文章で指示すると、動いて音も出る世界がその場でできる技術が、APIで使える段階に近づいています。

Ollama、小型モデルLFM3に対応

手元のパソコンでAIモデルを動かせるOllamaの0.40.12で、Liquid AIの小型モデル群「LFM3」が使えるようになりました。

- `ollama run lfm3` で実行。lfm3（1.7Bの文章モデル、コンテキストは25万6千トークン）、lfm3-vl（画像の理解…
- LFM3をもとにした判定用モデル d1 の2B版も追加。`ollama run d1:2b "I was charged twice for order 4417."…
- lfm3 と d1 2B は、今回はAppleのハードウェアのみ対応。LinuxとWindowsは近日対応



問い合わせの振り分けや簡単な文字起こしのような判断を、データを外に出さずにMacの中だけで自動化できます。

本日のトピック一覧

1. Cognition、FrontierCode 2.0を公開
2. Copilot、安全な操作をAIが自動許可
3. Codex 0.165.0、memory v2が既定に
4. Anthropic、Claudeでの創薬の途中経過
5. OpenAIとOracle、業務アプリをChatGPTへ
6. Google DeepMind、Genie 4を発表
7. Ollama、小型モデルLFM3に対応